

『クラウドファンディング』と『技能実習制度』 について講習会を開催

クラウドファンディング講習会

2月16日、高崎市・Gメッセ群馬において、『マーケットリサーチにも活用できるクラウドファンディング～町工場のクラウドファンディング体験談～』をテーマに開催。26人が参加した。講師はホワイトローズ株式会社代表取締役であり東京都洋傘協同組合代表理事を務める須藤幸氏。

須藤氏は、自社が世界初のビニール傘を開発するも、安さから中国製が市場を席卷し、国内最後のビニール傘メーカーとなった歴史について触れ、商品開発の資金調達のために目を付けたのがクラウドファンディングであると語った。

クラウドファンディング支援者の7割は男性であるため、商品のスペック・特徴等は数値で示すなど、機能性を見える化し説得力を高めることが重要とアドバイス。加えて、商品は既存品の足りない部分を補っている「少し違ういいもの」を開発すべきと成功のポイントを説明した。

そして、借入でないため返済の必要がなく、商品が市場に受け入れられないリスクもない。そのうえで、市場ポテンシャルを把握できるという点で優れているとメリットを解説した。

結びに、クラウドファンディングは新たな事業・商品・サービスの展開を検討する中小企業にとって有力な選択肢であり、如何なる企業もアイデア次第でB to C企業になりえるため、新たな一歩を踏み出し企業を成長させて欲しいと述べ、講演を締めくくった。

講習会終了後、個別の質問時間を設けたところ質問が飛び交い、クラウドファンディングに対する関心の高さが垣間見えた。



一人一人の質問に丁寧に答える須藤氏（左）

外国人技能実習制度適正化講習会

2月20日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、『外国人技能実習制度における監理団体・実習実施者の実務上の留意点について』をテーマに開催。50人が参加した。講師は、入管法、技能実習法、外国人労務管理等の外国人関連法制を専門とする、さくら共同法律事務所・弁護士の山脇康嗣氏。



山脇康嗣氏

講習会では、許可取消しの行政処分を受けた事例から監理団体が適正に運営するための行動が説明された。（下記参照）

最後に、技能実習制度及び特定技能制度の見直しについて触れ、『両制度の見直しに関しては、技能実習生及び特定技能1号相当の未熟練人材を受け入れる制度自体は残る方向性で議論が進んでいるが、現行制度から変更なく残るかは不透明。有識者会議開始前と比べれば、技能実習制度存続の気運が醸成されているものの予断は許さない状況に変わりはない』と見解を述べた。

【処分理由から見る適正運営方法】

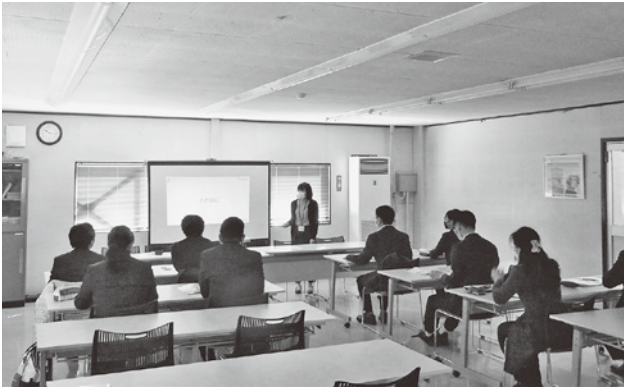
- 外国人技能実習機構に虚偽の記録を提出。
→虚偽や粉飾は決して許されることなく、状況の悪化を招く。問題が発生した場合は、経緯、発生原因、再発防止策の策定・実行方法等で構成する書面を作成し報告すべき。
- 自己の名義で他者に監理業を行わせた。
→名義貸しは極めて厳格に禁止されている。委託についても監理団体が委託できるのは補助的業務であり、例外的なものに限られている。
- 実習生のパスポート等を監理団体が預かる。
→パスポート等を預かることは、実習生本人の同意があったとしても法律で禁止されている。

留学生採用サポート事業

本会では、外国人留学生らの就職支援などに取り組む「グローバル・ハタラクラスぐんま(GHKG)」と連携し、「中小企業の魅力」を知ってもらう取組みとして中小企業研究インターンシップを実施しました。その一環として、県内留学生ら7名とともに2月22日・24日の2日間にわたって県内企業4社を訪問し、説明・案内していただきました。また、3月17日には群馬大学において、本事業にご協力いただいた企業の担当者にも参加いただき成果報告会を開催しました。

《クシダ工業株式会社》

社会インフラを支えるため、製造、設備工事、システム開発の3事業を融合し事業展開する全国的にも珍しい企業。「ワークライフ バカンス」をスローガンに、仕事とプライベート両方とも本気で楽しむという働き方を実践している。また、社会変化に対応できる会社を目指しており、その一例として、新たに「DX推進部」を創設した。



同社が取り組む事業の説明を受ける留学生

《三幸機械株式会社》

宇宙・航空ロケット部品や液晶板製造装置部品の製造を行う。同社の特徴は、難加工、特急品、大物高精度品の受注が中心で、その多くはロット数5個以下。県内大学の学生と連携し、「5S活動」を推進するなどの取組みも行っている。

参加した留学生は工場内に入り、多くの大型加工設備や品質検査機器を間近で見学した。



工場内に掲載された5S活動の取組みを興味深く見学する留学生

《株式会社吉田鉄工所》

自動車部品、鉄骨加工、建設など多分野の事業を手掛ける同社。参加者は、事業内容の説明を受けた後、敷地内の工場を見学。機械部、機工部、鉄構部の3工場を巡り、製造設備や工場内の雰囲気の違いを体感した。

電気代高騰の影響に関する留学生からの質問には、本年6月に工場の屋根にソーラーパネルを設置し、太陽光発電を行うとの方針が示された。



出荷待ちの鉄骨製品の説明を受ける留学生

《株式会社日東システムテクノロジーズ》

教育・医療分野におけるソフトウェア開発を展開する同社。「価値創造カンパニー」を目指し、「コミュニケーションと集中」による働き方を実現すべく、職場環境づくりに注力している。その思いを形にした新社屋が2021年に完成した。

新社屋を見学した参加者は、一見カフェにも見える快適で機能的なワークフロアを目の当たりにし、感嘆の声を上げていた。



オープンなプレゼンスペースを見学する留学生

組合決算税務講習会

3月2日と3月7日の両日、前橋市・ホテル1-2-3前橋マーキュリーにおいて、組合決算税務講習会を
実地とオンラインの両方で行うハイブリッド方式にて開催しました。講師は日新税理士法人の古知潔氏。
初日は主に決算、2日目は主に税務について解説しました。

■ 1日目：「組合の決算手続きについて」

最初に、決算書を作成する目的や会計原則、費用収益の計上時期の考え方等について説明した。

続いて、貸借対照表につき、証憑書類と照合すべき科目や仮勘定・棚卸資産・固定資産・繰延資産の考え方等を解説した。また、損益計算書につき、マイナスでの誤計上の有無、科目選択の妥当性等、確認ポイントを紹介した。さらに、一般管理費の細分化のし過ぎや、逆に科目不足による過大な雑費等、科目設定の妥当性の観点から注意を促した。



古知 潔 氏

■ 2日目：「組合特有の税務と申告のチェックポイント」

まず、税務では申告の仕方を把握するだけでなく、優遇措置を受けるために必要となる所定の会計処理も把握する必要があると説いた。

続いて、組合特有の会計処理として、教育情報事業賦課金の仮受処理や事業利用分量配当、脱退者持分の払戻し等を解説。また、会計監査の実効性を向上させる手法として、次の通り助言した。

- ①現預金の取扱いや証憑書類の保存等につき会計処理マニュアルを作成し、そのルールに基づき監査する。
- ②会計監査手順書を作成し、監事の交代後も同水準を確保する。

群馬高崎デジタル・技術大臣会合 DIGITAL AND TECH MINISTERS' MEETING IN TAKASAKI, GUNMA

本年4月29日(土・祝)、30日(日)に開催される「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」の関連事業を紹介いたします。

《「デジタル技術展」の開催【来場者募集】》

会合と同時開催の「デジタル技術展」を一般公開。多くの企業・団体等が出展し、最先端テクノロジーの披露や技術体験を予定しておりますので、是非ご来場ください。

日 時：4月28日(金)～4月30日(日)の
11時～16時(予定)

会 場：Gメッセ群馬 展示ホールB・C

入場料：無料(事前申込)

※当日Gメッセ群馬の駐車場は利用できないため、公共交通機関で来場してください。

※申込方法及び詳細は以下の大臣会合HPをご確認ください。

<https://g7digital-tech-2023.go.jp/exhibition/index.html>



《「会合開催記念シンポジウム」の開催》

3月21日(火・祝)に、Gメッセ群馬において会合開催記念シンポジウム開催し、約300名が参加しました。

講師に、菅義偉前内閣総理大臣を迎え、「デジタル化と地方創生による地域活力の向上」をテーマに講演を行うとともに、山本一太知事とのトークセッションを行いました。

《G7群馬高崎デジタル技術大臣会合専用

WEBサイトの開設》

その他のイベント情報等は、下記サイトをご覧ください。

<https://g7-gunma-2023.jp/>

